

科目名	古楽概論	授業期間	通 年
担当教員	渡邊順生	科目 No.	MKY1190 GEN2X90
受講対象	作曲「映画・放送音楽コース」「ポピュラー・インストルメンツコース」「ソングライティングコース」を除く全専攻 2～4年	単位数	4 単位

目 標 ／ 概 要	<p>春学期では、まず、古楽にアプローチする方法の特色を、古楽復興の歴史との結びつきにおいて、また20世紀の演奏様式の起点となったノイエ・ザッハリヒカイト（新即物主義）との関係において理解する。</p> <p>また、17～18世紀の音楽作品の演奏法について、「言葉」と「音楽」の関係に力点を置きつつ考察する。古楽の復興は、とりわけ20世紀の半ば以降は、楽器に関する知識・経験の集積と、バロック・古典期におけるパフォーマンス・プラクティス（演奏習慣）についての研究が手を携えて進んだことについて、具体的に解説しつつ考察を進めたい。</p> <p>ここでは、「古楽」の手法が、単に「古い」音楽を演奏するためのノウハウの問題ではなく、過去の音楽作品に如何にアプローチするか、あるいはいかなる問題意識を以てそれに当たるか、という、演奏におけるより普遍的な問題として理解されなければならない。</p> <p>歴史的な視点から、演奏対象となる過去の音楽作品だけでなく、演奏を行う現代の我々自身に対しても向けられなければならない。</p>
-----------------	--

授 業 計 画	春 学 期					
	1	講師の自己紹介「私の歩んだ道～古楽演奏の現場から～」				
	2	古楽復興の歴史（その1）＝楽譜の復興・・・原典版は如何にして作られるか等				
	3	古楽復興の歴史（その2）＝楽器の復興				
	4	古楽復興の歴史（その3）＝演奏習慣の復興				
	5	「音楽」と「言葉」の関係・・・「オペラ」が音楽の歴史を変えた				
	6	モンテヴェルディとレチタール・カンタンド（オペラ《オルフェオ》に即して）				
	7	モンテヴェルディとレチタール・カンタンド（その2） マドリガーレ その他				
	8	パフォーマンス・プラクティスの問題（楽譜の問題）				
	9	パフォーマンス・プラクティスの問題（楽器の問題）				
	10	パフォーマンス・プラクティスと演奏解釈				
	11	古楽復興とノイエ・ザッハリヒカイト				
	12	ロマン主義的演奏の特色				
	13	フルトヴェングラーのベートーヴェン演奏				
	14	今日における古楽演奏の問題点				
	15	古楽演奏の広がり				
	秋 学 期					
	1	音律の問題				
	2	金管楽器について（その1）・・・ホルネットとサクバット				
	3	金管楽器について（その2）・・・自然倍音楽器（トランペットとホルン）				
	4	木管楽器について（その1）・・・リコーダーとフラウト・トラヴェルソ				
	5	木管楽器について（その2）・・・リード楽器				
	6	弦楽器について（その1）・・・撥弦楽器				
	7	弦楽器について（その2）・・・ヴィオラ属の弦楽器				
	8	弦楽器について（その3）・・・ヴァイオリン属の弦楽器				
	9	鍵盤楽器について（その1）・・・チェンバロ（1）イタリア フランダース様式				
	10	鍵盤楽器について（その2）・・・チェンバロ（2）ドイツ・フランス・その他				
	11	鍵盤楽器について（その3）・・・クラヴィコード（1）16～17世紀				
	12	鍵盤楽器について（その4）・・・クラヴィコード（2）18世紀				
	13	鍵盤楽器について（その5）・・・ピアノ（1）ピアノ前史・ピアノの発明				
14	鍵盤楽器について（その6）・・・ピアノ（2）バロック～古典期					
15	まとめ					

準備学習の内容	参考文献を読んだり、録音を聴く、自らの演奏において実践的に学ぶ、など、多角的に演奏に関わる諸問題に関し、日常的に考察して欲しい。					
---------	--	--	--	--	--	--

履修上の注意						
--------	--	--	--	--	--	--

評価方法	試験	課題(レポート含)	発表	平常点	その他	合計
		○		○		
	補 足	レポート・出席による評価となる				

教材等	<p>ハリー・ハスケル『古楽の復活』（東京書籍）</p> <p>ニコラウス・アーノンクール『古楽とはなにか』（音楽之友社）</p> <p>ニコラウス・アーノンクール『音楽は対話である』（アカデミア・ミュージック）</p> <p>アントニー・バートン『バロック音楽～歴史的背景と演奏習慣』（音楽之友社）</p> <p>トン・コープマン『バロック音楽講義』（音楽之友社）</p> <p>渡邊順生『チェンバロ・フォルテピアノ』（東京書籍）</p>					
-----	--	--	--	--	--	--